

No	意見要旨	市の考え方	
		誤	正
28	多様な人材(担い手)の中に、鎌倉から出ていく大企業に代わるものとして既存の大学に加えてさらなる大学の誘致を考えたい。(例えば中外製薬跡地にバイオ学部や観光学部)。	基礎条件のⅡ土地利用(P3)の基本方針において、深沢地域を第三の拠点として、「Society5.0」※3や「スマートシティ」など国の戦略を受け、新たな時代を見据えた社会インフラや多様な機能の導入により、その実現を目指します。深沢地域整備事業は、深沢地域のみならず、市域全体の持続可能なまちづくり(スマートでコンパクトなまちづくり※5)を牽引し、本市のポテンシャルを高め、「働くまち鎌倉」、「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」の創造を目指すとともに、世界の先進モデルとなるようなまちづくりを目指します。」としていま	基礎条件のⅡ土地利用(P3)の基本方針において、深沢地域を第三の拠点として、「Society5.0」※3や「スマートシティ」など国の戦略を受け、新たな時代を見据えた社会インフラや多様な機能の導入により、その実現を目指します。深沢地域整備事業は、深沢地域のみならず、市域全体の持続可能なまちづくり(スマートでコンパクトなまちづくり※4)を牽引し、本市のポテンシャルを高め、「働くまち鎌倉」、「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」の創造を目指すとともに、世界の先進モデルとなるようなまちづくりを目指します。」としています。 <u>また、「市街地整備の推進」(P92～P94)の施策の方針では、主な取組の一つに「スマートでコンパクトな未来志向のまちづくりの推進」としており、整備の検討を進める中で、大学誘致の可能性を探ってまいりたいと考えています。</u> <u>なお、本市は、企業や近隣の大学と協定を締結し、協定内容に沿って、本市の抱える様々な課題の解決等に向けて幅広く取り組んでいます。</u> <u>今後とも、大学を含む様々なステークホルダーとの共創関係を築いていきます。</u>